

令和6年度（2024年度）

事業報告書

自 令和6年（2024年）4月1日
至 令和7年（2025年）3月31日

公益財団法人 関西交通経済研究センター

目 次

I. 概況	1
II. 事業報告	2
1. 交通経済に関する調査研究	2
2. 交通経済に関する講演会等の開催	8
3. 懸賞論文の募集事業	8
4. 文献その他出版物の刊行等	9
5. その他	9
III. 庶務事項	11
1. 会 議 等	11
A. 理 事 会	11
B. 評 議 員 会	11
C. 役員名簿等	12
2. 賛助会員	12
3. 事務局	12

I. 概況

当センターは、昭和47(1972)年10月25日に設立、昭和55(1980)年に物流に加え人流も事業の対象とするため現在の名称に変更、平成24(2012)年に公益財団法人に移行した。この間約半世紀にわたり、関西経済圏における交通・運輸・観光等に関する総合的な調査研究並びに情報発信等を行い、関西圏の社会、経済の発展に寄与することに努めてきたところである。

今年度の調査研究事業は、関係業界団体等からの受託調査研究事業等を11件実施した。その内訳は継続事業8件、新規事業3件であり、収益は32,300,000円であった。(前年度比18,009,000円減)

新規受託事業は(一財)近畿陸運協会、近畿バス団体協議会、近畿ハイヤータクシー協議会から受託した「バス・タクシーの人材確保シンポジウム」、(株)キリックから受託した「ジェンダー主流化の取組に関する座談会」、「5機関連携セミナー「持続可能な物流の実現に向けて」」の3事業である。

交通経済に関する講演会等の開催については、サロンセミナー及びかんこうけんコロキウムに加え、新たに新春講演会を開催した。

懸賞論文の募集事業には12編(前年度比3編増)の応募があり、優秀賞1編、奨励賞2編を選定し、後日かんこうけんコロキウムの場で受賞者の表彰式及び研究発表を実施した。

このほか、文献その他出版物の刊行及び情報発信として、「関西交通経済ポケットブック2024年版」の刊行及び当センターの活動状況などをニュースレターで賛助会員、行政、関係団体等に発信した。

なお、一般財団法人近畿陸運協会の支援を受けて平成21(2009)年4月に創設した「運輸安全マネジメント支援センター」については8月に同協会へ移管したため、運輸安全マネジメントの業務は実施しないこととなった。

今後とも当センターは、これまでの50年余の歴史と実績を基に、持続可能な地域公共交通の維持・発展、インバウンドによる観光の振興、SDGs、地球温暖化対策など新しい時代のニーズを踏まえ、今後も関西圏の将来を展望し、交通運輸、観光及び経済社会の発展に貢献する情報発信等を行っていく方針である。

また、令和7年4月1日施行の新公益法人制度への対応を進め、ポイントである「財務規律の柔軟化・明確化」「行政手続きの簡素化・合理化」「自律的ガバナンスの充実、透明性向上」に基づき、より柔軟な事業展開及び更なる信頼を得られる事業運営を行っていくこととする。

II. 事業報告

1. 交通経済に関する調査研究

受託調査研究事業等・・・11件

《概要》

(1) TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進

【事業内容】

平成18(2006)年10月の運輸安全マネジメント制度の施行から18年が経過し、本制度は大手運輸事業者を中心として概ね定着し、一定の効果をj得ている。一方、未だ取組の途上にある主として中小規模事業者については相当数の事業者が努力義務に溜まっていることや、運輸事業者に対する安全確保の社会的要請、近年の少子高齢化・自然災害の激甚化・感染症等の社会環境の変化などにより、新たなリスクが顕在化してきていることから時代に対応した普及・啓発をより推進していくこととした。

このような状況を踏まえ、運行管理体制の更なる向上に資するため運輸安全マネジメント国土交通省認定セミナーや運行管理者試験対策講習等を開催した。

なお、本事業は8月に一般財団法人近畿陸運協会に移管したため、下記の成果は7月までの実績である。

【成果】

1. 運輸安全マネジメント認定セミナーの開催

- ・開催回数：6回《延べ参加者243名》

ガイドライン(中小含む)：4回《参加者162名》/リスク管理(基礎)：2回《参加者81名》

2. 運行管理者試験対策講習会の開催

- ・開催回数：7回《延べ参加者241名》

3. トラック・タクシーの新任・新規運転者の講習会の開催

- ・開催回数：11回《延べ参加者426名》

(2) 第16回自動車事故防止セミナー

【事業内容】

本セミナーは、事業用自動車の事故防止対策の一環として平成19年度より毎年開催している。今年度は「事業用自動車が、安全運行を続けるために」をテーマに開催した。

【成果】

- ・日時：令和7(2025)年1月22日(水)13:00～16:00

- ・場所：ドーンセンター ホール

講演1 講師：加山 聡一氏(国土交通省物流・自動車局 安全政策課 係長)

テーマ：「事業用自動車の安全対策について」

講演2 講師：梅澤 進氏(公益財団法人交通事故総合分析センター 調査部研究第三課 課長代理)

テーマ：「健康起因事故の事例と再発防止対策」

講演3 講師：船川 由香氏(全国健康保険協会大阪支部 企画総務部 保健グループ グループ長)

テーマ：「ドライバーのための健康づくり 職場も社員もスモールチェンジ！」

- ・参加者 140名

*後日、近畿運輸局YouTubeチャンネルで録画配信(視聴回数1,441回・2025.4.30時点)

(3) 交通サポートマネージャー研修の実施（2024年度、関西地区）

【事業内容】

交通事業者（鉄道、バス等）を対象に、高齢者や障害者など移動制約者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現し理解を深めることを目的に、交通事業従事者に接遇・介助の知識と技術を伝えるための研修（教育訓練）を実施した。

（訓練のポイント）

- ・声のかけ方、接遇・介助の方法、配慮する点等について、座学と実技、ディスカッションを通じて総合的に学ぶことができる。
- ・少人数のグループごとに障害当事者や専門家が加わるディスカッションを行い、参加者からの質問にもその場で回答できる。
- ・バスや鉄道の車両、駅施設等を用いた実技と専門家、障害当事者講師からの具体例を交えた講義により、実態に近い研修内容である。

【成果】3回開催し、81名が受講し修了した。

- ・第1回 開催日：令和6（2024）年6月26日（水）～27日（木） 場所：大阪国際交流センター
参加者：26名（鉄道17名、バス3名、旅客船6名）
- ・第2回 開催日：令和6（2024）年12月5日（木）～6日（金） 場所：京都市交通局会議室
参加者：25名（地下鉄13名、バス12名：京都市交通局職員）
- ・第3回 開催日：令和7（2025）年2月5日（水）～6日（木） 場所：大阪国際交流センター
参加者：30名（鉄道18名、バス10名、旅客船2名）

(4) 手話教室の開催

【事業内容】

交通事業従事者の手話技能の習得による接遇向上と聴覚に障害のある方への理解促進を図るための「手話教室」を開催した。なお、受講機会を増やすため、今年度より開催方式をオンラインに変更し、10講座1セットを2回実施した。

- 【成果】
- ・第1回 期間：令和6（2024）年6月11日（火）～8月27日（火）
受講者：15名（鉄道3名、バス5名、その他7名）
 - ・第2回 期間：令和6（2024）年9月24日（火）～12月17日（火）
受講者：12名（鉄道3名、バス1名、その他8名）

(5) 2024年度 バリアフリー推進勉強会の開催（関西地区実施業務）

【事業内容】

交通バリアフリーを推進する上での課題等について、ハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、関係者等との意見交換や情報交換を目的に、関西地区のバリアフリー推進勉強会を開催した。

【成果】

○第19回

- ・日時：令和6（2024）年9月20日（金） 13：30～16：00
- ・場所：ホテルプリムローズ大阪2階 鳳凰
- ・テーマ：「大阪・関西万博」に向けて誰もが円滑に移動できる接遇・介助を考える
～「交通事業者向けバリアフリーサポートBOOK」の活用！～
- ・基調講演
講師：北川 博巳 氏（近畿大学 総合社会学部 准教授）

テーマ：「自信をもって誰もが公共交通を利用できるように
～『交通事業者向けバリアフリーサポートBOOK』づくりを通して～」

・取組紹介

講師：南都 博志 氏（大阪市高速電気軌道株式会社 建築部 駅リニューアル企画第1課長）

テーマ：「地下鉄駅舎のバリアフリー施策について」

・ディスカッション：『バリアフリーサポートBOOK』の掲載事例から、より良い接遇と介助を考える

（パネリスト）竹田 幸代 氏（きんきビジョンサポート 代表）

（パネリスト）六條 友聡 氏（社会福祉法人ほぼんがぼん）

（パネリスト）長宗 政男 氏（公益社団法人大阪聴力障害者協会 会長）

（コーディネーター）美濃 伸之 氏（兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 教授）

（コメンテーター）北川 博巳 氏（近畿大学 総合社会学部 准教授）

・参加者：120名

*後日、関交研YouTubeチャンネルで録画配信（視聴回数171回、2025.4.30時点）

○第20回

・日時：令和7(2025)年2月14日（金）14:00～16:30

・場所：難波御堂筋ホール8階 ホール8A

・テーマ：誰もが快適に利用できる公共交通機関に必要なこと

～「交通事業者向けバリアフリーサポートBOOK」を通して～

・主旨説明：北川 博巳 氏（近畿大学 総合社会学部 准教授）

・事例紹介：吉川 ひとみ 氏（アクセス関西ネットワーク）：「コミュニケーションが9割かもしれない」

：妹尾 美紀 氏（自立支援センターばあとなあ）：

「わたしのこと知的障害のなかまのこと合理的配慮のこと」

・取組紹介：植木 智 氏（新設Cチーム企画）：「移動時のLGBTQの困りごと」

・事例紹介：鈴木 千春 氏（障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議）

「誰もが快適に利用できる公共交通機関に必要なこと「社会モデルから考える香害・感覚過敏」

（コメンテーター）美濃 伸之 氏（兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 教授）

（コーディネーター/コメンテーター）北川 博巳 氏（近畿大学 総合社会学部 准教授）

・参加者：75名

*後日、関交研YouTubeチャンネルで録画配信（視聴回数103回、2025.4.30時点）

(6) 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等

【事業内容】

社会との共生を図りトラック運送業界の持続的発展を目指すため、2025年カーボンニュートラルに向けたトラック運送業界の自主的取り組みである「環境ビジョン2030」を実践しつつ、脱炭素化に向けた以下の取り組みを実施した。

【成果】

1. エコドライブ意識調査の実施

・期間：令和6(2024)年1月1日から30日（※エコドライブ推進月間）

・回答数：事業者110社、ドライバー1,688名

カーボンニュートラル実現に向けドライバーにエコドライブの啓発を目的に実施。実施期間中に運転者が自らの運転を振り返り、12項目あるエコドライブチェックシートに記入。記入結果を

集計、分析し報告書に取りまとめた。

2. 広報誌「トラック業界の価値を高める羅針盤」の作成

- ・作成部数：2, 500部（A4版、20ページ）
- ・テーマ：加速する物流改革
- ・配付先：兵庫県トラック協会の会員事業者

3. 「環境と物流を考えるフォーラム」の開催

トラック運送事業が社会に果たしている役割やその重要性、また環境対策への取り組みなどについて広く理解いただき、併せて、トラック運送業界および会員事業者の環境改善への取り組みの有効性を理解いただくために開催した。

- ・日時：令和6(2024)年11月26日(火) 14:00～16:40

＊後日、兵庫県トラック協会 YouTube チャンネルで録画配信(視聴回数 108 回、2025. 4. 30 時点)

- ・場所：兵庫県トラック総合会館 3階 大会議室

講師：橋本 愛喜 氏 (フリーライター)

テーマ：「運送業界の構造から掘り下げる～トラックドライバーのモラル問題～」

講師：正木 明 氏 (気象予報士・防災士)

テーマ：「命と貨物を守る輸送判断～ドライバーは如何に異常気象、災害に備えるか～」

- ・参加者：80名

(7) 交通環境教室

【事業内容】

少子高齢化、人口減少、そして、モータリゼーションの進展等により、乗合バスを取り巻く環境は極めて厳しい中、将来通学や通勤などで地域公共交通機関を活用する機会が多くなる小学生を対象に、地域の交通、環境問題に関心を持つきっかけを与えることを目的に体験型の交通環境教室（バス事業者、学識者の講話、バス営業所の見学等）を実施した。

【成果】

- ・日時：令和6(2024)年9月4日(水) 9:35～11:25
- ・場所：京都市立祥豊小学校／西日本ジェイアールバス株式会社 京都営業所
- ・参加児童：54名 (小学2年生)
- ・講師：神田 佑亮 氏 (呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授)
藤本 晶義 氏 (西日本ジェイアールバス株式会社 京都営業所所長)
- ・アンケート結果：

バス利用の現状を聞くと、バスに乗って「お出かけしない」が2/3を占めていたが、本教室の実施後は、「バスに乗りたい」が94%、「バスが地球環境によい乗り物ということが分かった」が98%に上がった。本教室を通じて、バスに親しみを持ち、乗ることで社会貢献につながることを理解が広まった。

(8) 交通環境セミナー

【事業内容】

国土交通省では令和3(2021)年7月に、グリーン社会の実現に向けて2030年度までの10年間の重点プロジェクトを「国土交通グリーンチャレンジ」としてとりまとめ、トラック輸送の効率化や海運・鉄道へのモーダルシフトの更なる推進のほか、次世代自動車の普及促進など様々な取り組みを推進している。

今年度は、優良な環境対策を展開する自動車運送事業者の取組等を発表いただくことにより、「国土交通グリーンチャレンジ」に位置づけられた各施策をより一層推進するための動機付けを目的に開催した。

【成 果】

- ・日時：令和7(2025)年3月4日(火) 13:30～16:15
- ・場所：中央電気倶楽部 5階 511号室
(基調講演) 濱 和宏 氏 (環境省近畿地方環境事務所 地域循環共生圏・脱炭素推進グループ脱炭素化支援専門官)
「脱炭素化の動向と取組紹介」
(取組発表1) 土岩 健次 氏 (神姫バス株式会社 バス事業部安全推進課 担当課長)
「バス事業における環境への取組について」
(取組発表2) 田中 匡 氏 (エムケイ株式会社 営業本部 課長)
「タクシー事業者のEV 導入について」
(取組発表3) 平野 幸介 氏 (鴻池運輸株式会社 東海支店 名古屋西営業所 所長)
「燃料電池フォークリフトの活用事例紹介」
- ・参加者：38名
- *後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信 (視聴回数 113 回・2025. 4. 30 時点)

(9) バス・タクシーの人材確保シンポジウム (*新規)

【事業内容】

バス・タクシー等の地域公共交通は、住民の豊かな暮らしの実現や地域経済活動に必要不可欠であるが、近年の運転者不足の深刻化により、将来にわたって輸送サービスを維持・確保していくことが困難な状況となっている。運転者不足への対応に当たっては、事業者はもとより関係者がそれぞれの立場から取り組むことが必要である。そこで運転者の確保・育成と定着化の手法を考えることを目的にシンポジウムを開催した。

【成 果】

- ・日時：令和7(2025)年2月13日(木) 13:30～16:40
- ・場所：大阪国際交流センター2階 小ホール
(基調講演) 村田 智紀 氏 (国土交通省物流・自動車局旅客課 課長補佐 (総括))
「自動車運送業分野 (バス・タクシー) における外国人運転者の活躍に向けて」
(事例紹介①) 大上 真司 氏 (両備ホールディングス株式会社 常務執行役員 バス・鉄軌道ユニット長)
「持続可能な運輸交通サービスの土台を作る～乗務社員確保に向けた両備グループの挑戦～」
(事例紹介②) 大久保 恵美 氏 (一般社団法人兵庫県タクシー協会 会長)
「いま一度考えるタクシーに求められる役割」
(事例紹介③) 中出 博行 氏 (福井県未来創造部新幹線・交通まちづくり局交通まちづくり課 課長)
「福井県のバス運転士確保対策」
- ・参加者：111名
- *後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信 (視聴回数 328 回・2025. 4. 30 時点)

(10) ジェンダー主流化の取組に関する座談会 (*新規)

【事業内容】

共生社会実現の一環として、行政やサービスを提供する側が男女の異なるニーズを理解して政策やサービスに反映していく「ジェンダー主流化」の取組強化の第一歩として、関西地方の運輸観光分野等で活躍する方々と座談会を開催した。

【成 果】

・日時：令和7(2025)年2月7日(金) 13:30～15:00

・場所：ホテルグランヴィア大阪 鳳凰A

(基調講演) 長町 理恵子 氏 (追手門学院大学 経済学部経済学科 准教授)

「ジェンダー主流化の取組について」

(意見交換) 長町 理恵子 氏 (追手門学院大学 経済学部経済学科 准教授)

今中 未余子 氏 (南海電気鉄道株式会社 まち共創本部泉北事業部長)

清瀬 真紀子 氏 (神姫バス株式会社 バス事業部計画課 地域公共交通担当課長)

大久保 恵美 氏 (株式会社山手モーターズ 代表取締役)

松本 久美 氏 (株式会社シーガル 取締役)

吉田 ルリ子 氏 (加藤汽船株式会社 船長)

上村 早苗 氏 (株式会社淡路島観光ホテル 代表取締役)

押栗 泰代 氏 (認定特定非営利活動法人 マイママ・セラピー 理事長)

森 なおみ 氏 (株式会社インプリージョン ツーリズム事業部 プロデューサー)

松尾 武文 氏 (一般社団法人滋賀県タクシー協会 専務理事)

岩城 宏幸 氏 (国土交通省近畿運輸局長)

臼井 謙彰 氏 (国土交通省神戸運輸監理部長)

(11) 5機関連携セミナー「持続可能な物流の実現に向けて」(*新規)

【事業内容】

「トラックドライバーの不足や労働時間の遵守」「宅配便の再配達削減」等、物流が直面している諸課題を解決するには物流事業者や荷主企業、一般消費者が協力し取り組むことが効果的であるため、令和6年4月に締結した連携協定に基づき、連携協定締結機関が結集してセミナーを開催した。

【成果】

・日時：令和7(2025)年3月19日(水) 13:30～16:30

・場所：大阪国際交流センター2階 小ホール

(基調講演) 安部 誠治 氏 (関西大学名誉教授)

「物流の役割とこれから」

(行政機関の取組紹介) 岩城 宏幸 氏 (近畿運輸局長)

(荷主企業の取組紹介)

深井 雅裕 氏 (日清食品株式会社 常務取締役 事業統括本部長 兼 Well-being 推進部長)

町 一浩 氏 (エレコム株式会社 取締役 物流部 部長)

(トラック事業者の取組紹介)

松岡 弘晃 氏 (フジトランスポート株式会社 代表取締役社長)

殿村 英彦 氏 (センコー株式会社 事業政策推進本部 輸配送事業推進部 常務理事)

(意見交換)

志村 幸久 氏 (大阪労働局長)、犬飼 史郎 氏 (近畿農政局次長)

信谷 和重 氏 (近畿経済産業局長)、片桐 一幸 氏 (公正取引委員会事務総局近畿中国四国事務所長)

岩城 宏幸 氏 (近畿運輸局長)

上記の荷主企業およびトラック事業者

コーディネーター：安部 誠治 氏 (関西大学名誉教授)

・参加者：103名

*後日、近畿運輸局 YouTube チャンネルで録画配信 (視聴回数 281 回・2025. 4. 30 時点)

2. 交通経済に関する講演会等の開催

(1) サロンセミナー

- ・日時：令和6(2024)年12月13日(金) 15:00～16:45
- ・場所：大阪キャッスルホテル 7階
- ・講師：岩城 宏幸氏(国土交通省近畿運輸局長)
- ・テーマ：「最近の近畿運輸局の取り組みについて」
- ・参加者：90名

(2) かんこうけんコロキウム

①第47回

- ・日時：令和6(2024)年10月9日(水) 17:00～18:15
- ・場所：ホテルプリムローズ大阪 3階 高砂の間(東)
- ・講師：西野 光氏(国土交通省近畿運輸局 自動車交通部長)
- ・テーマ：「タクシーを取り巻く現状について」
- ・参加者：25名

②第48回

- ・日時：令和7(2025)年3月24日(月) 15:00～17:00
- ・場所：大阪キャッスルホテル 6階 鳳凰の間
- ・内容：懸賞論文受賞者(優秀賞・奨励賞)の表彰式及び研究発表
- ・参加者：22名

(3) 2025年新春講演会

- ・日時：令和7(2025)年1月28日(火) 14:00～15:30
- ・場所：中央電気倶楽部 5階 511号室
- ・講師：飛田 章氏(公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 交通局長)
- ・テーマ：「大阪・関西万博について」
- ・参加者：65名

3. 懸賞論文の募集事業

関西圏における運輸交通・観光の一層の発展と地域社会の活性化に寄与するため、平成20(2008)年度から実施している。

今年度は12編の応募があり、審査委員会での厳正な審査の結果、優秀賞1編、奨励賞2編を選定した。

- 優秀賞：堀 正樹氏(大谷大学 社会学部 コミュニティデザイン学科)

「モビリティミックスの実現に向けたゲーム型MMの提案—京都府京丹後市での実践から—」

- 奨励賞：岡田 紗奈氏(大谷大学 社会学部 コミュニティデザイン学科)

「地域共創型モビリティ・マネジメントの提案

—ソーシャルマーケティングを活用した公共交通の利用促進策—」

- 奨励賞：浦野 雅都氏、川合 咲穂氏、坂本 七海氏(和歌山大学 観光部 観光学科)

「魅力度分析から見る、顧客満足を高める観光列車デザインとは

～パンダくろしおを事例として～」

4. 文献その他出版物の刊行等

(1) 「関西交通経済ポケットブック2024年版」の刊行

- ・昭和48（1973）年度から関西経済圏における交通経済に関する統計資料を毎年発行
（国土交通省地方支分部局監修）
- ・発行部数：730部
- ・主な配付先：関係官公庁（国土交通省地方支分部局、神戸市港湾局等）、賛助会員、関係事業者団体等

(2) メールマガジン「関交研ニュースレター」の発信

- ・当センター主催の講演会等の開催案内、講演録などの情報を賛助会員等に配信

5. その他

令和6（2024）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当することがないので、事業報告の附属明細書は作成しない。

(参考)

令和6年度（2024年度） 調査研究事業一覧表

(p2～7 関連)

番号	事業名	委託先
1	TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進	(一財)近畿陸運協会
2	第16回自動車事故防止セミナー	(一財)近畿陸運協会
3	交通サポートマネージャー研修の実施(2024年度、関西地区)	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
4	手話教室の開催	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
5	2024年度 バリアフリー推進勉強会の開催(関西地区実施業務)	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
6	兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等	(一社)兵庫県トラック協会
7	交通環境教室	(一財)近畿陸運協会
8	交通環境セミナー	(一財)近畿陸運協会
9	バス・タクシーの人材確保シンポジウム	(一財)近畿陸運協会 近畿バス団体協議会 近畿ハイヤータクシー協議会
10	ジェンダー主流化の取組に関する座談会	(株)キリック
11	5機関連携セミナー「持続可能な物流の実現に向けて」	(株)キリック

Ⅲ. 庶務事項

1. 会議等

A. 理事会

(1) 第35回 理事会

開催日 令和6年5月20日(月)

開催場所 中央電気倶楽部(大阪市北区)

- 議案
- ① 令和5年度事業報告書(案)について
 - ② 令和5年度決算報告書(案)について
 - ③ 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第11条第1項第二号に規定する変更認定申請(案)について
 - ④ 主たる事務所の移転(案)について
 - ⑤ 第26回定時評議員会の招集(案)について

(2) 第36回 理事会

開催日 令和6年6月13日(木)

開催場所 大阪キャッスルホテル(大阪市中央区)

- 議案
- ① 会長・理事長及び常務理事の選定について

(3) 第37回 理事会

開催日 令和7年3月26日(水)

開催場所 中央電気倶楽部(大阪市北区)

- 議案
- ① 令和7年度事業計画書(案)について
 - ② 令和7年度収支予算書(案)について
 - ③ 第27回臨時評議員会の招集(案)について

B. 評議員会

(1) 第26回 評議員会

開催日 令和6年6月13日(木)

開催場所 大阪キャッスルホテル(大阪市中央区)

- 議案
- ① 令和5年度決算報告書(案)について
 - ② 任期満了に伴う理事の選任について
 - ③ 任期満了に伴う監事の選任について
 - ④ 任期満了に伴う評議員の選任について

C. 役員名簿等

(令和7年3月31日 現在)

(1) 役員

会 長	尾 崎 裕	大阪ガス(株) 相談役
理 事 長	東 井 芳 隆	(一財)関西観光本部 代表理事 専務理事
常務理事	福 元 稔	(公財)関西交通経済研究センター 事務局長
理 事	小 黒 一 興	前 日本通運(株) 執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長
〃	小 谷 通 泰	神戸大学 名誉教授
〃	加 藤 琢 二	加藤汽船(株) 代表取締役会長
〃	鈴 木 一 明	(一社)大阪バス協会 会長
〃	平 島 竜 二	(一社)京都府トラック協会 会長
〃	和 田 林 道 宜	近畿日本鉄道(株) 相談役
監 事	岡 田 信	阪神バス(株) 代表取締役会長
〃	中 井 宏	近畿冷蔵倉庫協議会 会長
顧 問	野 村 明 雄	大阪ガス(株) 特別顧問

(2) 評 議 員

評 議 員	上 村 正 美	阪急電鉄(株) 専務取締役都市交通事業・不動産事業・経営企画部 (大阪梅田2030プロジェクト)担当
〃	大 岩 根 禎 一	(一財)神戸観光局 専務理事
〃	倉 坂 昇 治	西日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長兼執行役員
〃	小 林 敏 二	南海フェリー(株) 代表取締役社長
〃	坂 田 喜 信	(一社)大阪府トラック協会 会長
〃	長 尾 真	(公社)兵庫県バス協会 会長
〃	野 口 恭 広	(株)名門大洋フェリー 代表取締役社長
〃	橋 本 一 孝	(株)辰巳商会 常勤監査役
〃	深 津 安 郎	(一財)近畿陸運協会 理事長

2. 賛助会員

法人会員数・口数	79 法人	847 口
個人会員数・口数	11 名	13 口

3. 事務局

(1) 事 務 所 (令和6年7月29日に移転)

大阪市西区西本町1丁目6番2号(阿波堀ビル 3F)

電 話 (06)6543-6291 FAX (06)6543-6295

ホームページ <http://www.kankouken.org>

(2) 役 職 員 (令和7年3月31日現在)

役 員	3名	(会長(非常勤)、理事長(非常勤)、常務理事)
事務局 長	1名	(常務理事、事務局長兼務)
総 務 部	1名	(係長)
業 務 部	2名	(課長、研究員)